

特集
1

より多くの“ありがとう”のために

ワタミグループは、「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」をスローガンに掲げ、事業活動を展開しています。より多くのお客様から“ありがとう”を集めるべく、国内、海外ともに事業を拡大しています。

国内外食：47都道府県出店達成!!

ワタミフードサービスは、2012年度、居食屋「和民」の初出店から20周年を迎えるとともに、鳥取県、島根県、福井県、秋田県、高知県に初出店を果たし、全国47都道府県への出店を達成しました。

ワタミグループは、1992年に居食屋「和民」1号店として、笹塚店を東京都渋谷区に出店しました。「豊かで楽しいもうひとつの家庭の食卓」を基本コンセプトに、多様化するお客様のニーズに対応し、既存店のブラッシュアップや新業態の開発を行い、出店地域を拡大してきました。新生JAPANESE DINING「和民」や、炭火焼だいにんぐ「わたみん家」をはじめ、様々な業態を展開しており、2013年8月末現在は634店舗を展開しています。

海外外食：アジア9地域で外食店舗を展開

ワタミインターナショナルは、2012年度、香港、上海などで過去最多となる21店舗を出店しました。また、2012年11月、フィリピンで現地企業によるフランチャイズ店舗を初出店し、2013年5月には、韓国の現地企業と合併会社を設立し、韓国1号店を出店しました。ワタミグループの海外展開は香港、深圳、広州、上海、台湾、シンガポール、マレーシア、フィリピン、韓国の9地域へと広がり、2013年8月末現在は、居食屋「和民」、日本料理「和亭」、Japanese Restaurant & Cafe「Kitchen J」の3業態、91店舗を展開しています。

介護：6,000名を超えるご入居者をサポート

ワタミの介護は、2012年度、介護付有料老人ホーム「レストヴィラ」を新たに14棟開設しました。2013年8月末現在は、レストヴィラを中心に、「トレクオーレ横須賀」、住宅型有料老人ホーム「レヴィータ岸和田」を含め、94棟の介護施設を運営しており、6,000名を超えるお客様にご入居いただいています。

また、2011年度には、「レストランディ」という新しいコンセプトのデイサービス「ハッピーデイズ」を新たに開設しました。2013年8月末現在、3カ所で展開しています。

宅食：毎日、約28万食のお食事をお届け

ワタミの宅食では、お客様と同じ地域で暮らす「まごころスタッフ」が、一軒一軒、手渡しを基本にお弁当やお惣菜をお届けしています。

2012年度は、過去最多となる177カ所の営業拠点を開設し、お届けエリアを42都府県に拡大しました。

2013年8月末現在では、営業拠点数は512カ所となり、9,199名の「まごころスタッフ」が、1日あたり約28万食のお弁当やお惣菜を毎日お客様にお届けしています。

マーチャндаイジング：

13カ所のワタミ手づくり厨房から全国に商品を提供

ワタミ手づくりマーチャндаイジングは、集中仕込みセンター「ワタミ手づくり厨房」(以下、センター)を運営し、全国のワタミグループ外食店舗、介護施設、宅食の営業拠点へ商品を提供しています。

2012年度は、センターを愛知県(中京センター)と山口県(岩国センター)に、2013年6月には、埼玉県(白岡センター)にも新たに開設しました。2013年8月末現在は、国内13カ所のセンターを運営しています。

農業：全国10拠点で、794haの農場・牧場を運営

ワタミファームは、2012年度、兵庫県に丹波農場と長野県に東御(とうみ)農場を新たに開設しました。2013年3月には、北海道網走郡美幌町が運営している美幌峠(びほるとうげ)牧場の草地を借りることで合意し、2013年5月から稼働しています。ワタミファームは、2013年8月末現在、10拠点において、794haの農場と牧場(うち、有機認定圃場面積は204ha)を運営しています。

環境：風力発電事業に参入!3基の風車を稼働

ワタミグループ(ワタミエコロジー)は、2011年度に風力発電事業に参入し、2012年3月に、秋田県にかほ市でワタミグループ第1号となる風車を稼働しました。2013年には、秋田県の秋田市と由利本荘(ゆりほんじょう)市でも風車を稼働し、2013年8月末現在は、3基の風車を稼働しています。

また、2012年度より、千葉県山武市の「土づくりセンター」で生ゴミ堆肥化の実験にも取り組んでいます。

外食店舗 介護施設 宅食営業拠点 ワタミ手づくり厨房 農場、牧場



特集

特集 2

ワタミ夢ストリート

ワタミグループは、2012年7月、本社ビル1階に、「ワタミ理念研究所」を設立し、ワタミグループの“歴史と未来の展示場”として「ワタミ夢ストリート」を開設しました。同年10月からは、ワタミ夢ストリートの一般公開を開始しています。



開設趣旨

ワタミグループは、1984年5月、創業者の渡邊美樹がセールスドライバーで稼いだ資本金300万を元手に有限会社渡美商事を創業しました。外食のフランチャイズからスタートし、「地球上で一番たくさんの方の“ありがとう”を集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、介護・宅食・マーチャンダイジング・農業・環境へと事業を展開しています。ワタミグループの29年の歴史における事業活動の広がり、創業以来掲げてきた理念追求の成果と考え、理念と接する場として開設しました。

「ワタミ理念研究所」設立趣旨

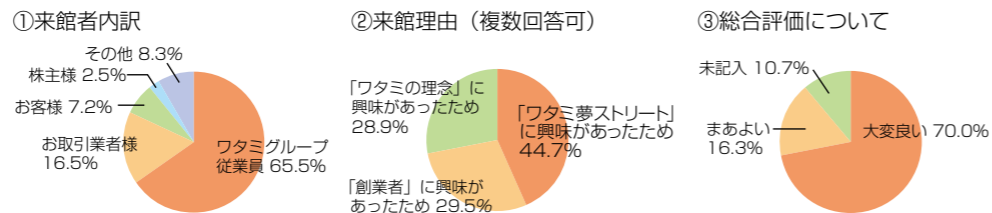
- ①ワタミグループに関わるすべての人（仲間）が、その人生および事業体において「ワタミらしく」あるため、ワタミ理念を整理し、理解しやすく、浸透する仕組みを確立します。
- ②ワタミ理念、渡邊美樹の理念は、“経営”にかかわる理念や“人生哲学”など多岐にわたります。しかし、その根源はひとつ（創業者渡邊美樹の個人としての“思い”）であります。この理解のもと「理念の整理・研究・成果物発信」を行います。
- ③研究活動（成果）は、そのワタミらしさ（ワタミ理念、渡邊美樹の思い）が広く社会に有用であることを証明し、社会の発展に役立てるべく発信します。

「ワタミ夢ストリート」開設趣旨

- 社員・株主様・お取引業者様など、ワタミグループに関わる方々がワタミ理念に触れることで、ワタミが何のために存在しているのか、ワタミが大切にしてきたものは何なのか、ワタミがワタミであり続けるために必要なものは何なのかをより深く知っていただける場、皆様とワタミ理念の接点として開設しました。
- 館内では、ワタミグループが展開する事業と、ワタミグループが積極的に支援する公益財団法人School Aid Japan、その他、非営利法人の活動などについても、参入した当時の思い（原点）を展示し、現在に至るまでの活動過程をご覧いただけます。

「ワタミ夢ストリート」のアンケート結果（2012年7月17日～2013年3月末）

ワタミグループは、「ワタミ夢ストリート」にご来館いただいた皆様に、アンケートへのご協力をお願いしています。いただいたご意見・ご感想は、「ワタミ夢ストリート」の運営や展示内容の改善に役立てさせていただきます。



④展示を見ての感想

従業員より
これから先、悩んだりしたら必ずここに来ると思います。外食の会社だった頃のビデオレターなどは、外食で働く今の自分には心に響くものばかりで、ぜひアルバイトメンバーも連れて来ようと思います。(男性 30代)

株主様より
社員の方々、創業者の夢を大切にしている心、お客様や利用者の方々々に幸せな気持ちになってもらいたいという願い、心のこもったサービスなどなど、各展示からその想いが伝わってきました。ビデオ紹介は、実際の活動の様子がよくわかりました。このストリートをもっともっと有効に活用したいですね。高校生、大学生など、「社会とは」「仕事とは」を考える子どもたちに見てもらいたいと思いました。(男性 50代)

お取引業者様より
何度かワタミ様の創業時や理念のお話は伺っていましたが、このように目で見えるカタチで体験することで、より理解を深められました。(女性 20代)

お客様より
「創業」というスタートからの歴史がわかりやすくてよかった。物事の判断、信念理念についてこれほど熱く考えていかつスピード感あふれる行動が今をつくっているんだな、と強く感じました。(男性 30代)



展示内容のご紹介

- ①「宅配便トラック」コーナー
創業者が、創業資金を貯めるために、宅配便のセールスドライバーとして働いていた姿を展示しています。創業者にとって、創業の資本金は、「自分で、汗水たらして集めたお金」であることが最重要でした。さらに、この展示には、自分の設定した目標を達成するまで、「決してあきらめない」というメッセージが込められています。
- ②「会長室」の再現
創業者が取締役会長に就いていた頃に使用していた部屋を再現しました。ワタミのグループ企業体の紹介や、会長室に飾られていた愛蔵品を展示しています。また、創業者が常に手元に置き、読み返してきた書籍や、哲学者や小説家、経営者の名言を書きとめた「感動メモ」なども展示しており、創業者が日々、何を学び何を感、何を大切にしてきたのかをご覧いただけるスペースとなっています。
- ③「エコミーシート」コーナー
ワタミグループの最初の経営目的が誕生した場面から、東証一部上場までの様子を展示しています。最初の経営目的が生まれた場所である「エコミーシート」の展示には、「このシートが、社員一人ひとりの“夢シート”であってほしい、社員一人ひとりが自分の夢に思いを馳せる場になってほしい」というメッセージが込められています。
- ④ワタミグループが展開する事業紹介コーナーやワタミグループが支援する社会貢献団体の紹介
ワタミグループがそれぞれの事業に参入した背景や、社会貢献団体を支援することになった背景を、創業者が社員へ向けて綴ったメッセージを通して紹介しています。
- ⑤館内中央
過去から現在までのワタミグループの思いや活動の記録を、自由に閲覧いただけるスペースです。第0号（1990年発行）から最新号までのグループ報や、「理念集」の全文、これまでに開設してきた事業拠点の画像などを、タッチパネルやiPadで閲覧いただけます。また、創業者の自著や創業者に関する書籍もすべて揃えています。

来館のご案内
ワタミグループは、2012年10月より、「ワタミ夢ストリート」を一般公開しています。ご来館の際は、ご予約をいただきますようお願いいたします。みなさまのご来館をお待ちしております。

【ご来館のご予約・お問い合わせ】
電話：03-5737-2814（ワタミ株式会社 ブランド広報グループ内）
受付時間：平日10時～17時（土日祝日休館）
※メールでもご予約を承っております。詳しくは、ワタミ夢ストリート ホームページをご覧ください。
URL：http://www.watamirinen.net

特集



ソーシャルビジネスへの支援

ワタミグループは、事業活動の展開、社会貢献団体の支援に加え、ソーシャルビジネスの育成・支援を開始しました。社会的問題の解決にこれまで以上に寄与することで、より良い社会づくりに貢献していきます。

一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズの設定

ワタミ(株)は、2013年1月、グラミン銀行創始者で、2006年にノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏が提唱する「ユヌス・ソーシャルビジネス」に基づき、九州大学「ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター」の協力を得て、「一般社団法人ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ(以下、SBDP)」を設立し、事業運営資金として、1億円を基金として拠出しました。

国内で、「ユヌス・ソーシャルビジネスの7原則」に基づいたソーシャルビジネスの育成・支援を行い、社会的問題の解決に寄与することが目的です。

Social Business Dream Partners

一般社団法人 ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ

SBDPは、代表理事 渡邊美樹のもと、ソーシャルビジネスを行う企業や団体への資金調達支援、経営コンサルティングを行います。2013年4月には、公式サイトを開設するとともに、事務局、投資アドバイザー委員会、理事会の組織を構成しました。事務局が、ユヌス・ソーシャルビジネスに関心がある企業や団体への窓口として、事業内容や事業目的、経営理念などをヒアリングし、出資エントリーの登録を行います。また、投資アドバイザーや理事会への検討手続きを行い、投資に関して議論を行います。2013年9月末現在まで、8つの企業、団体が出資エントリーの登録を行いました。現在、厳正なる審査や視察を行い、出資に向け検討しています。

また、SBDPでは、講演会の開催、審査員やパネリストとして積極的にイベントに参加することを通し、ソーシャルビジネスの普及にも取り組んでいます。

～ユヌス・ソーシャルビジネスの7原則～

- ① 経営目的は、利潤の最大化ではなく、人々や社会を脅かす貧困、教育、健康、情報アクセス、環境といった問題を解決する事である。
- ② 財務的・経済的な持続可能性を実現する。
- ③ 投資家は投資額のみを回収できる。投資の元本を超える配当は行われない。
- ④ 投資額を返済して残る利益は、会社の拡大や改善のために保留される。
- ⑤ 環境に配慮する。
- ⑥ 従業員に市場賃金と標準以上の労働条件を提供する。
- ⑦ 楽しみながら取り組むこと。

「みんなの夢AWARD3」アワード受賞者 垣内俊哉さんへの支援

ワタミグループが支援するNPO法人(現一般財団法人)みんなの夢をかなえる会は、2013年1月、「みんなの夢AWARD3」を開催しました。ワタミグループは、特別協賛企業として、アワード受賞者に資金提供など、経営のサポートを約束しました。

□アワード受賞者は、**垣内俊哉さん**(写真・右)

垣内さんは、バリア(障がい)をフリーにする(取り除く)だけでなく、バリアをバリューにするという独自の考えのもと、株式会社ミライロ(以下、ミライロ)を立ち上げました。現在は、「バリアバリュー」の視点から、ユニバーサルデザインに取り組む方へのコンサルティング、高齢者や障がいのあるお客様への接客に関する研修、障がいのある子どもに向けた家庭教育を提供しています。

「みんなの夢AWARD3」のステージでは、「日本中の障がいのある方が、個々の個性を活かし、学び、働くことのできる社会を創ること、日本をユニバーサルデザインの先進国にすることが夢」と語り、アワードを受賞しました。

□ワタミグループから垣内さんへの支援

「みんなの夢AWARD3」後に開かれた、ワタミグループ役員と垣内さんとの話し合いの結果、垣内さんの夢をかなえるための支援は、現在の日本において、まだ切り開かれていないマーケットの開拓に協力することであると合意に至りました。

そこで、ワタミグループは、2013年7月に開催された、ワタミグループの全幹部社員(約600名)を対象とした研修会で、サービス業におけるユニバーサルマナーの必要性について、垣内さんに講演を依頼しました。

2014年度には、「新入社員研修」において、ユニバーサルマナーを含めたビジネス研修を行っていただけるよう、ミライロに依頼する計画です。



創業記念祭

ワタミグループは、毎年、創業記念日の5月16日前後に、グループのほぼすべての社員が集まる「創業記念祭」を開催しています。ワタミグループのこれまでの歴史を振り返ることで、社員一人ひとりが「創業の原点」に立ち返ることを目的としています。また、グループ各社が日々取り組んでいる活動の紹介や、社員の表彰を行い、仲間の取り組みを共有・賞賛する場としています。

2013年度 初の取り組み企画が盛りだくさん!!

2013年度の創業記念祭では、初の取り組みとして以下の3企画を実行しました。

①会場内にグループ各社のブースを出展!
グループ各社が行っている活動に実際に触れることのできる場をつくり、社員がグループの活動をより深く理解できるようにしました。

②「ありがとうツアー in パシフィコ」の実践!

ワタミグループ創業者 渡邊美樹と、ワタミ(株)代表取締役社長 桑原豊が、社員の日々の仕事に対し直接感謝の気持ちを伝える場をつくりました。



③社員のご家族をご招待!

社員を支えてくれるご家族に、ワタミグループの思いや活動に触れていただき、社員がどのような会社で働いているのかを知っていただく機会としました。

ステージで行われたプログラム

ステージでは、グループ各社を代表した社員が、日頃どのような思いで、どのような仕事に取り組んでいるのかを発表し、全社員で共有しました。また、勤続年数10年目、20年目を迎えた社員と、特に優れた取り組みを行った社員を表彰しました。プログラムは、創業者の講話で締めくくり、創業から引き継がれているワタミ理念を全社員で再確認しました。



グループ各社を代表した社員の発表



勤続年数 10年目の社員の表彰



創業者の講話

アイデア満載!グループ各社が出展したブース



外食事業
TGIフライデーズのクルーがフレアパーティーを披露。



介護事業
介護施設の内装を再現したブースで健康チェック。



宅食事業
お弁当やお惣菜の紹介。会場では、自慢の卵焼きを提供。



マーチャンダイジング事業
ワタミ手づくり厨房から各事業拠点に商品が届くまでの流れを紹介。



農業
有機人参ジュース、有機トマトジュースを販売。



環境事業
ワタミグループから排出される生ゴミがリサイクルされる流れを紹介。



ワタミグループが支援する社会貢献団体もブースを出展。公益財団法人SAJのブースではSAJ Farmで収穫されたレモンを使った「ROYAL レモンガラスティ」を提供。

東日本大震災復興支援のご報告

東日本大震災により、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

ワタミグループは、東日本大震災を受けて災害支援活動を開始した公益財団法人 School Aid Japan に寄附先・支援先を集中し、グループおよびそれぞれの事業会社において、様々な取り組みを行いました。現在も継続して支援を行っています。



きのこの SATO 株式会社への出資、経営的サポート

ワタミグループが支援するNPO法人(現一般財団法人)みんなの夢をかなえる会は、2012年2月に「みんなの夢アワード2012」を開催しました。ワタミグループは、特別協賛企業として、アワード受賞者に最大2,000万円の資金提供など、経営的サポートを約束しており、被災地特別枠として出場し、アワードを受賞した「きのこのSATO株式会社(以下、きのこのSATO)」に対し、夢の実現のサポートとして、出資・貸付および経営的サポートを継続的に行っていきます。

きのこのSATOは、東日本大震災で大きな被害を受けましたが、生産拡大により地域雇用を創出し、復興のいち早いモデルとなるべく取り組んでおり、2013年5月には、生産施設(ビニールハウス)を17棟、新たに増設しました。きのこのSATOは、2015年度末までに50棟のビニールハウスを完成させ、計100名の従業員を雇用することを計画しており、きのこの生産拡大を目指しています。



増設された、きのこのSATOの生産施設

□きのこのSATOのしいたけを商品化

ワタミグループは、2012年9月より、きのこのSATOが生産するしいたけをメニュー化し、ワタミグループ国内外食店舗で提供しています。ワタミグループは、販売面でも、きのこのSATOを継続的に支援していきます。

「陸前高田のしいたけを使ったきのこの焼」(「わたみん家」で提供)



「陸前高田市産しいたけと貝のエスカルゴ風」(「和民」「坐・和民」で提供)

ヤマニ醤油株式会社への支援

ヤマニ醤油株式会社は、きのこのSATOと同様、「みんなの夢アワード2012」に被災地特別枠として出場しました。それをきっかけに、ワタミグループは、ヤマニ醤油株式会社の支援に取り組んできました。

2012年度には、ワタミインターナショナルが、「ヤマニ醤油」を使用したすき焼き用の調味料「すき焼き割下」を開発し、2013年3月より、香港で展開している日本料理「和亭」の人気メニュー「関西風すき焼き」のタレとして提供しています。



関西風すき焼き

外食店舗にて、宮城県産のサバを使用した商品を提供

ワタミフードサービスは、2013年2月～4月にかけて、全国のJAPANESE DINING「和民」、居食屋「和民」、語らい処「坐・和民」において、復興支援を視野に入れ、宮城県産のサバを使用した「サバの塩焼」を提供しました。

また、2013年3月には、宮城県、京都府、広島県と連携したキャンペーン「和民で味わう日本三景」を実施し、行政と連携して「食」を通じた地方の活性化に取り組みました。キャンペーン期間中は、全国の「和民」「坐・和民」にて、京丹後産の有機人参、広島県産の牡蠣を使用した商品とともに、「サバの塩焼」の販売を強化しました。



「和民で味わう日本三景」キャンペーンPOP



「宮城県産サバの塩焼」